

第1号様式（第8条関係）

令和2年4月10日

東員町議会

議長 水谷 喜和 様

東員町議会議員

川瀬 孝代

令和元年度 政務活動費に係る収支報告について

東員町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項（第2項）の規定により、別紙のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和元年度 政務活動費収支報告書

議員名 川瀬孝代

1 収入 政務活動費 120,000円

2 支出 (単位：円)

科目	支出額	備考
調査研究費	30,310	政務活動費について(京丹後市議会) 議会活性化の取り組みについて(早稲野町議会)
研修費	97,230	第18回 地不 ^り 考 ^え 社会フォーラム ・3Xニ ^て フォーラム24
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
事務費		
合計	127,540	

3 残額

0 円

注) 備考欄には、主たる支出内訳を記載する。

令和元年度 政務活動費収支計算書

収 入

(単位：円)

項 目	収入年月日	金 額	摘 要
政務活動費	H31.4.25	110,000 円	11ヶ月分一括振り込み
	R2.3.10	10,000 円	1ヶ月分一括振り込み

支 出 (No. 1)

(単位：円)

項 目	支出年月日	金 額	摘 要
研修費	令和元年 5月13日～5月14日	58,250	第18回地方から考える「社会フォーラム」
調査研修費	令和2年 1月14日～1月15日	30,310	政務活動費について 議決活動化への 取り組みについて (研修費、研修費等)
研修費	令和2年 2月7日～2月9日	38,980	TX=ティフォーラム24.
合計		127,540 円	

参考様式 2

領 収 書 等 添 付 一 覧 (令和元年度)

使途項目	調査研究費		
年月日	支出内容	支出額	整理番号
令和2年 1月14日~1月15日	政務活動費について、議会活性化の 取組みについての調査研究経費	30,310 円	1
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		30,310 円	

※ 支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、「領収書等貼付用紙」の表紙として活用してください。

参考様式 4

使途項目	調査研修費	整理番号	/
------	-------	------	---

活動旅費明細書(令和元年度)

議員名 川瀬孝彦

研修事項: 政務活動費・議員間の自由討議・住民との対話機会について

目的地: 京丹後市議会・与謝野町議会

期間: 令和2年1月14日から令和2年1月15日(2日間)

(1) 交通費 22,460 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
2日間	東員 ~ 西桑名 (往・復)	三岐鉄道 北郁線	680円
"	桑名 ~ 峰山 山崎山 ~ 天橋立(途中下車)	JR関西線 京丹後鉄道 宮豊線	5,660円 450
"	名古屋 ~ 京都 (往・復)	新幹線	6,540円
"	京都 ~ 天橋立 (往・復)	JR はしは号	3,420円
"	与謝野 ~ 桑名 天橋立 ~ 与謝野(途中下車)	JR関西線 京丹後鉄道 宮豊線	5,460円 250
合 計			22,460円

(2) 宿泊費 7,850 円

(宿泊内訳) 実費 7,850 円 × 1 泊

(実費の上限は、14,800円)

合 計 30,310 円

注意

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

領収書等貼付用紙(令和元年度)

使 途 項 目	調査研修費
参考様式2の「整理番号」	/

※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 平成・令和 年 月 日

Q78N3V886EGGZE8B7B42 RS-0187-20200109-0003-2021001

近畿日本ツアーズ

2020年01月09日

領 収 証

下記金額正に領収いたしました。

川瀬 孝代 様

金額： ¥21,780-

但し： 鉄道運賃代として
2020年1月8日 現金により¥21,780 合計： ¥21,780

株式会社近畿日本ツアーズ
四日市
責任者：支店長 前泊 英樹

〒510-0074 三重県四日市市場の森
1-3-23 四日市中央通りビル8階
TEL: 059-351-4851
承認者：田中 穂積 発行者：花木 裕美

＜お客様用＞

※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	旅費
按分率等 (按分の支出の場合)	
その他	

船車券 鉄道
TICKET RAILWAY

お問合せ番号 24824-80499 (0005)
RECEPTION NO.

京都丹後鉄道

U260024

峰山 ▶ 天橋立

2020年01月14日 当日限り有効

YEAR MONTH DAY

宮豊線

途中下車：指定駅のみ可

おとな 450: 1 名様

代表者名 東員町 議会事務局 様
発行日 2019年12月26日
発行会社名 (63) 近畿日本ツーリスト中部
発行店舗 (0100187) 四日市支店
券番号 船車券-07749 (#060)

合計額 (消費税を含みます) FARE/CHARGE (TAX INCL)
¥450

船車券 鉄道
TICKET RAILWAY

お問合せ番号 24824-80499 (0006)
RECEPTION NO.

京都丹後鉄道

U260024

天橋立 ▶ 与謝野

2020年01月15日 当日限り有効

YEAR MONTH DAY

宮豊線

途中下車：指定駅のみ可

おとな 250: 1 名様

代表者名 東員町 議会事務局 様
発行日 2019年12月26日
発行会社名 (63) 近畿日本ツーリスト中部
発行店舗 (0100187) 四日市支店
券番号 船車券-07748 (#060)

合計額 (消費税を含みます) FARE/CHARGE (TAX INCL)
¥250

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和元年度)

使 途 項 目	調 査 研 修 費
参考様式2の「整理番号」	※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 平成・令和 年 月 日	

領 収 書 RECEIPT

No. 222977

22年 1 月 14 日

お名前
GUEST NAME

川瀬 孝代



神々の遊湯

天橋立温泉

阪急阪神第一ホテルグループ

天橋立ホテル

〒626-0001 京都府宮津市文珠310
TEL 0772-22-4111(代)
FAX 0772-25-1681

総合計

7,850 円也

クーポン・前受金

0 円

差引領収金額

7,850 円

紙 入

※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	京丹後市議会・与謝野町議会視察研修宿泊費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

令和 2 年 4 月 10 日

東員町議会

議長 水石 喜和 様

東員町議会 議員 川瀬 孝代

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	<u>令和 2 年 1 月 14 日 (火)</u> ~ <u>1 月 15 日 (木)</u> [2 日間]
研修 (視察) 先	京丹後市議会 与謝野町議会
目的 (テーマ等)	・政務活動費について (政務活動費の交付条例) ・議会活性化の取り組みについて (議員同士の自由討議・住民との対話機会)
参加議員名 (複数の場合記入)	三宅 耕三 ・ 三林 浩
資料添付の有無	有 ・ (無)

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名：川瀬孝代〕

研修概要、内容、所感

京丹後市議会

令和2年1月14日

政務活動費について

平成16年市として発足(合併)平成19年京丹後市まちづくり基本条例を制定と同時に京丹後市議会基本条例制定(平成20年4月1日施行)政務活動費を明記してある。

平成26.26年頃に県議会議員の政務活動費の活用が問題になりマスコミ等で取り上げられた。このことで意識が変わってきた。

先進地視察などを行い、使いにくい面があるため活用を考へて適正チェックを実施(90項目)基準に基づいての使いみち(月額15,000円)合併当時は政務活動費のない町もあった。

何が政務活動なのか明記し、グレーなものには活用しないこと。「京丹後市議会政務活動費の交付に関する条例」を制定し透明性を示している。会派別にチェックし、良くわかるように整理されている。政務活動とは何かを議員全員で議論し、市民が概念を持たないようにはしていかなければいけない。

所感

政務活動費の用途は、それぞれ議会によってちがうが、条例で明記することも必要と思いました。

また、チェックシートでは明確にわかるため議員の活動がわかり、良い取り組みである。

視察当初議長がチェックという事で出向したが、議長だけではなく、事務局と共にチェックしているとのことでした。

ていねいに説明いただき、議会報告会ではカネ方式で行い、定例会ごとに行っています。これから東員町議会としても報告会は取り組みなければなりません。いろいろな取り組みを参考にしながら議会の見える化としていきたいと思っています。

〔議員氏名：川瀬 孝代〕

研修概要、内容、所感

与謝野町議会 令和2年1月15日

・質問事項は別紙に記載

議会基本条例は平成24年に制定し、議会改革に取り組んでいます。議会活性化特別委員会を立ち上げ、町民アンケートの実施・進地視察・議会懇談会の開催に取り組んでいます。

各種団体と懇談・フリートークでどなたとも良いから議会の立場で行っています。

議員間討議の実施月2回、町の課題・問題を共有していく。

委員会発議による条例制定、子ども議会懇談会を開催(町小

小学校から2名) 町村議会広報コンクールで奨励賞受賞、町村議

会特別表彰受賞団体の事績に取り上げられるなど取り組んでいる。

町民に信頼される存在感のある議会を目指していると同時に

町政や議会に関心をもちまうことを目的としています。

懇談会を活発に行っていることがわかりました。

また、子ども議会では、議会に対する理解が深まったという事で

した。

議会改革先進地への研修は勉強になります。

開かれた議会をめざして東真町議会議員として研鑽して

いきたいと思いをしました。

政務活動による視察研修行程表

日 程 : 令和2年1月14日～15日 (火～水)

1月14日 (火) 【1日目】… 京丹後市にて研修

東員駅	三岐鉄道北勢線	西桑名駅	桑名駅	JR 関西本線	名古屋駅
7:01 発		7:26 着	7:44 発		8:09 着 8:24 発
JR 新幹線	京都駅	JR	天橋立駅	峰山駅	
のぞみ201号	8:58 着 9:24 発	特急はしだて 1号	11:30 着 11:33 発	11:59 着	

京丹後市議会にて研修
午後1時30分から

峰山駅	天野橋立駅	宿泊: 天橋立ホテル
15:54 発		電話 0772-22-4111

1月15日 (水) 【2日目】… 与謝野町にて研修

天野橋立駅	与謝野駅	与謝野町議会 (加悦庁舎) にて研修
9:20 発	9:29 着	午前10時から

与謝野駅	天橋立駅	JR	京都駅	JR 新幹線
13:04 発	13:13 着 13:48 発	特急はしだて 4号	16:07 着 16:26 発	のぞみ240号

名古屋駅	JR 関西本線	桑名駅	西桑名駅	三岐鉄道北勢線	東員駅
17:00 着 17:13 発		17:38 着	17:51 発		18:14 着

三重県東員町議会様 質問事項の回答（京都府与謝野町）

1) 議員同士の自由討議について

(1) 協議調整の場とありますが、具体的にどのようにされていますか。

○本会議から全員協議会に切り替えて自由討議を行うこともありますし、前期の任期中は、多い時には月2回、議運でテーマを定めて、議員に呼びかけて行ったこともあります。

(2) 自由討議はどのようなタイミングで行っていますか。

○議案について、協議調整が必要な場面になれば、全員協議会に切り替えて行う場合もあります。

(3) 自由討議の内容は決まりがありますか。

例えば議案に関する事項でなければ駄目とか。

○前期の任期中に行った議員間討議は、その時の町の課題等について、テーマを定めて行った事例もありますし、前述のとおり議案に関する事項も協議する場合もあります。

(4) 自由討議後、どのように活用されているのですか。

○意見等を一致させることは、難しいですので、問題や課題であることを各議員が意識することからスタートしています。

○ときには、次につながるアイデアが出たり、方向性が見出せることもあります。

- ・地酒の普及の促進に関する条例の制定
- ・予算審議における付帯決議の可決
- ・議会基本条例の一部改正（付帯決議の条項を追加）

2) 住民との対話機会について

(1) 開催時期はいつ頃で、どのような体制で年に何回行っていますか。

○開催時期は、毎年10月頃に実施し、自治区全区の24区に出向いたり、小学校区単位（9箇所）であったり、旧町単位（3箇所）であったりと、毎年議運で諮り、決定しています。また、議員の体制については、議員全員で出向いたり、2班から3班に分けて班編成で出向いたりしています。

(2) 実施当初の頃と比べて住民及び議会としてどのような変化がありましたか。

○平成24年度から8年連続して実施していますが、少しずつ参加者数が減少傾向にあることと、参加者が同じ顔ぶれになっている傾向もあると感じています。

(3) 今後の課題は何ですか。

参考様式 2

領収書等添付一覧(令和元年度)

用途項目	研修費		
年月日	支出内容	支出額	整理番号
令和元年 5月13日~5月14日	第18回 地方から考える「社会保障フォーラム」 についての研修経費	31,250 円	1
令和元年 5月8日	研修参加費	27,000 円	2
令和2年 2月7日~2月9日	7Xニターフォーラム24についての 研修経費	18,980 円	3
令和2年 2月7日	研修参加費	20,000 円	4
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		97,230 円	

※ 支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、「領収書等貼付用紙」の表紙として活用してください。

参考様式 4

使途項目	研修費	整理番号	/
------	-----	------	---

活動旅費明細書(令和元年度)

議員名 川瀬 孝代

研修事項: 第18回 地方から考える「社会保障フォーラム」

目的地: ビジョンセンター 東京有楽町

期間: 令和元年 5月 8 日から令和元年 5月 9 日(2日間)

(1) 交通費 21,600 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交 通 費
2日間	穴太 ~ 西桑名 (往・復)	三岐鉄道 北勢線	540円
"	桑名 ~ 名古屋 (往・復)	JR 関西線	} 12,960円
"	名古屋 ~ 東京 (往・復)	東車券 特急券(新幹線)	
	~	往・復	円
	~	往・復	円
合 計			21,600円

(2) 宿泊費 9,650 円

(宿泊内訳) 実費 9,650 円 × 1 泊

(実費の上限は、14,800円)

合 計 31,250 円

注意

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和元年度)

使 途 項 目	研 修 費
参考様式2の「整理番号」	1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 平成・令和元年 5月 8日

領 収 書

2019.05.06 2019.05.09
2019.05.09

田村孝代




※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	社会保障フォーラム 研修 宿泊費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和元年度)

使 途 項 目	研修費
参考様式2の「整理番号」	2 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 平成・令和元年 5月 8日	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>領 収 証</p> <p>川瀬 孝代 様</p> <hr/> <p>¥ 27, 000 円</p> <hr/> <p>但 第18回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費として 2019年 5月 8日</p> <p>上記正に領収いたしました</p> <p>〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3児谷ビル3F</p> <p>地方から考える「社会保障フォーラム」事務局</p>  </div>	
<p>※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。</p> <p>また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。</p>	
使 途	社会保障フォーラムセミナー受講代
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

令和 2 年 月 日

東員町議会

議長 水谷 喜和 様

東員町議会 議員 川瀬 孝代

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	<u>令和元年 5 月 8 日 (水)</u> ~ <u>5 月 9 日 (木)</u> 【 2 日間】
研修 (視察) 先	<u>ビジョンセンター 東京有楽町</u>
目的 (テーマ等)	<u>地方から考える「社会保障フォーラム」</u>
参加議員名 (複数の場合記入)	<u>龜山市議会 森美和子</u> <u>鳥羽市議会 坂倉広子</u>
資料添付の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要・内容・所感

第 18 回地方から考える社会保障フォーラム 2019 年 5 月 8 日から 5 月 9 日

概要・内容

「社会保障・地方の課題とは」 東京大学高齢社会総合研究機構 辻 哲夫氏

1、財政の見通しでは、高齢化に伴い給付費は増大し税財源の確保が問題である。

2、人生 100 年、超高齢・人口減社会の姿、2050 問題

①個人の長寿・社会の高齢化・高齢期の自立度(フレイルは今後大きな問題)・認知症(共に暮らす社会)・高齢者の一人暮らし

②2040 に向けて

まちの空洞化(コンパクトなまちづくり)・労働力の減少(担い手不足)

課題として

できる限り暮らせる地域、弱っても安心して暮らせる地域をどうつくるか。

超高齢化と人口減少の同時進行にどう対応するのか。

★地域包括ケアシステムをさらに深めていく必要がある。

★自助互助への意識改革が大事である。

★だれもが支え合う地域共生社会を目指していくこと。

★40 歳から 74 歳までは、生活習慣病の予防をしていくこと。

★70 歳前後からはフレイル予防をしていくこと。(低栄養・カロリー制限・塩分制限をおこなうか)

★フレイル対策予防を体系化していくことで、まちづくりとして取り組むことが大事である。(地域住民・企業・行政のネットワークを基としていくこと)

★予防システム、生活支援システムの地域参加型

★在宅医療、多職種連携システムや日常生活の範囲での在宅サービス、拠点確保、生活支援に ICT システムに転換していくこと。

「人口減少の現実とその対策」 明治大学政治経済学部特任教授 金子隆一氏

1、日本の人口動向 2、経済社会の課題と挑戦

日本の人口減少と少子高齢化

歴史的な大転換 ・生物学、生態学の理論を逸脱した日本の人口推移となっている。

世界でも特異な日本の人口推移で 21 世紀を通して人口減少、高齢化は世界 1 である。

長寿世界一と最低水準出生率の組み合わせが長期続いていくことになる。

課題として

① 少子化が解消すれば人口減は止められるのか。出生率が直ちに人口置き換え水準になっても年齢構造の上に 2080 年までは、人口減は止まらない。2 割の人口を失うことになる。

② 高齢化率はどうか。

より高齢な年齢層ほど増加率は高く、高齢化は介護難民問題が起こることになる。高齢人口の高齢化が進む。都市では、深刻化し増大となる。健康や生活の課題は深刻になり、認知症も進んでいく、認知症がもたらす課題は深刻化していくことになる。

★経済においては、生産年齢人口の減少によって、消費経済の縮小で支える世代が少ないために、若い世代のふたんが増となり、社会保障が増えていくことになる。

・2040年前後には、死亡者数が増加し160万人台でピークとなる。85歳以上の死亡が増加し介護や終末期医療の需要が頻拍する。

★政治においては、高齢化により若い世代の有権者も減少して、子どもの生活環境の劣化や教育の質が低下していく。

・家族やライフスタイルにおいては、家族の消滅・単独世帯の高齢者の増加・家計の断絶が起きてきて、無縁社会が到来する。

★どうしていくのか

- ・移民が考えられるが、世界では移民の争奪戦が始まっている。
- ・経済発展してくる国では、少子化問題が起きている。多文化共生社会の実現となる。
- ・労働者として、外国人を入れることに頼ることはよくない。
- ・健康寿命を延ばすことで高齢社会像を変えていく。
- ・教育や技術水準を高め、高度情報化社会へ適応していく人材育成が必要。

「これからの高齢者福祉」 厚生労働省老健局長 大島一博氏

公的保険でやること・地域でやること

- 1、全世代型社会保障・少子化克服のため待機児童対策・働き方改革・子育て費用の軽減
- 2、介護の課題・人生100年時代で生涯現役・健康長寿・リカレント教育

社会経済では

これまで1970年以降の高齢化、1980年以降の家族単身化1990年代以降は非正規雇用があったが、これからは人口減少による地域や支えてがいる人生100年時代で生き方を考える、IT化、グローバル化が起きてくる。

人生100年を見据えた複線型人生

・定年の概念にとらわれずに年をとっても働くこと。(65%は65歳を超えても働くことを希望している。)

- ・社会参加すること(生涯現役)の普及
- ・リカレント教育の普及
- ・働き方に中立な社会保障(社会保険の適応拡大)

若返る高齢者(身体機能の若返り)・体力テストで15年前と比べて5歳以上若返りしている。歩行速度は、10年で10歳程度早くなっている。

予防・健康づくり

- ・ターゲットとして中高年の糖尿病予防(メタボ対策)
- ・高齢者のフレイル対策
- ・医療保険者は機能やデータヘルス、企業は健康経営、市町村は健幸都市とフレイル(介護予防)

介護保険のあり方

- ・予防や病気になる前のもとの暮らしに戻ることに伴う
- ・住民同士の支え合い・社会参加・地域貢献・地域共生社会の視点

人手不足への対応

・介護職員の賃金引上げ・介護業界の3Rイメージの払拭・IT活用で業務の省力化・高齢者の就労拡大・外国人就労拡大
認知症

・運動、食生活、交流、糖尿病予防、難聴対策の取り組みにより発症を先送りすることができる。(予防)

・老化でもあり年をとれば誰もがなる85歳から98歳は40%・90歳から94歳は60%
95歳以上は80%

・生活上困難が生じても地域や周りの人の力で減らせるように、幸せに暮らせるようにすることが大事である。(共生)

「厚生労働省予算と今後の展開について」 厚生労働省大臣官房会計課課長
横幕章人

2019年度から2021年度の

社会保障改革を軸とする基盤強化期間と位置付け(骨太2018)社会保障関係費の実質伸びは前年度+4.774億円。また、高齢化による増加分は、平成31年度+4.800億円程度におさめる方針を実施。

重点項目

・働き方改革・人づくり改革・生産性革命
質が高く効率的な保健・医療・介護の提供
全ての人々が安心して暮らせる社会に向けた福祉の推進

消費税率引き上げでは

・各種報酬改定・薬価・特定保健医療材料価格改定・低所得高齢者の介護保険料軽減・年金生活支援給付金の支給などで全世代型社会保障の基盤強化に取り組むための予算措置をしている。

・防災減災・国土強靱化の緊急対策、病院の耐震整備などの緊急対策などがあります。
2040年を見据えた社会保障制度改革では、高齢者の急増から現役世代の急減に局面が変化していくため課題への対応が必要になる。

「地域における自殺対策の推進」 厚生労働省社会・援護局総務課
自殺対策推進室室長補佐 萩原竜佑氏

1、自殺の現状

9年連続減少しているが、深刻な状況になっている。

原因は複合的な背景があって連鎖している。

先進国では、15歳から34歳の年齢で日本は1位を占めている。

中高年が高かったが減少傾向で若者は減少していない。

取り組みとして

・平成18年に自殺対策基本法が成立、平成19年に自殺総合対策大綱・自殺対策白書・自殺予防週間、平成22年に地方自治体の取り組みへの財政支援、平成28年に地域自殺対策計画の義務化などがあります。

・自殺総合対策要綱における目標として、令和8年までに自殺死亡率の27年度と比べて

30%減少させる。

・自殺の要因としての調査から、地域生活の現場で平均して4つの要因(問題)があり、失業・負債・生活苦・うつ状態が連鎖する中で起きていること。

・地域共生社会

地域住民や地域の多様な主体が我がこととして参画し、人と人・人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、住民一人一人の暮らしと生きがいを地域と共に作っていく社会。

困っている人をみんなで支えていくことができるようにしていく。

所感

1、地域包括ケアシステムでは、在宅医療への取り組みとなっていくが、人材不足、財政的なこともあり、市町の力量にかかっていると思うと町としては、厳しい面が出てくると思います。地域で暮らしていくためには、まちづくりへの取り組みが必要になると思います。コンパクトシティへの取り組みを研修していくことを思いました。

フレイル対策は喫緊の課題と思います。町では、健康寿命の延伸に力を入れていく考えである。介護予防・認知症予防・フレイル予防政策に力を入れていかななくてはならない。一般質問などで提案し質していきたい。

2、これからの日本の状況をデータで示しておりました。数値をみて今まで考えたことのないようなもので悲観してしまいました。初めて、経験したことのない社会を迎えていく。少子化問題は深刻なもので、高齢者は、生き方にかかってくるのか。地方創生の中で、それぞれで工夫をしていくしかないと思いました。教育や健康への取り組みは重要、地域共生社会への共有が必要です。

3、人生100年時代高齢化が進むことで、高齢者福祉政策で介護予防や認知症、日常生活支援事業など取り組みを中心に力を入れていかなければならない。町として住民主体でカフェ、いきいき百歳体操など取り組んでいます。行政では、限りがあり職員も足りません。どうやって住民に参画してもらうのか、地域の課題として地域で解決していく力をつけていかないと町が存続していなくなってしまう。コミュニティが大事。互助への取り組みを発展させていくことが必要です。

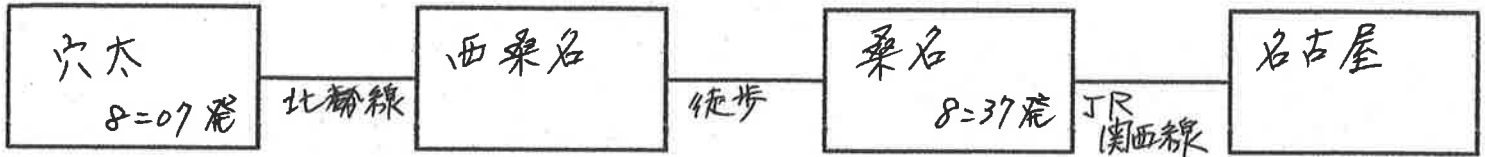
4、安心して暮らせるまちづくりのためには、社会保障の財源確保と町の住民サービスが必要です。2040年問題や少子化問題など課題はたくさんあります。今抱えている課題への住民の現状認識と意識改革が必要です。高齢者施策や子育て支援とともに若者への支援施策も重要になります。令和元年度での「新しい経済政策パッケージ」では教育負担の軽減、子育て、介護など盛り込まれています。時代に合った対策に取り組み、国と自治体との連携で未だかつて経験したことのない日本の現状を乗り越えていくことです。

5、自殺予防への対策は早期発見・早期対応になります。相談体制で、窓口には行きにくいという現状があります。ネット社会であることから心のケアをSNSやアプリの活用が有効と思います。また生活困窮者自立支援事業での制度の活用、充実が重要です。

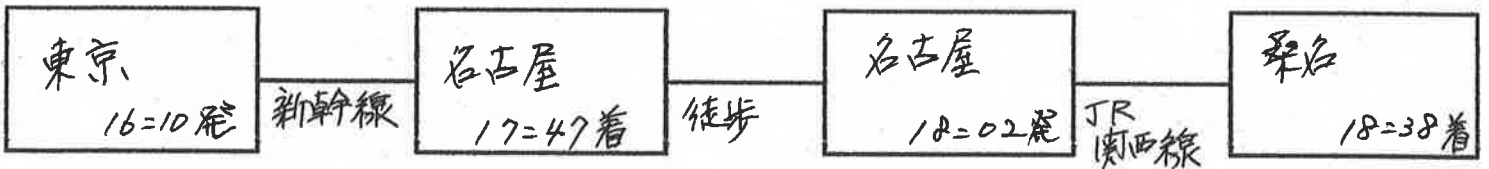
苦しみを取り除いてあげる、リスクを軽減していく、きめ細やかな対応が必要です。人とのつながりの中で、生きがいが持てるように支え合う仕組みづくり、取り組みへの情報発信に努めていきたいと思ひます。

行程表

令和元年 5 月 13 日 ~ 令和元年 5 月 14 日



<18回> 地方から考える「社会保障フォーラム」
13日(1日目)
12:00 ~ 18:50
・ホテル 4件 = WEX インビカシキンザ泊。
14日(2日目)
9:30 ~ 15:00



18回

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

本邦初開催

セミナー開催のご案内



政府は2019年度予算案で高齢化などに伴う社会保障費の自然増分を約4800億円に抑え、「全世代型」の社会保障への転換を進めるとしています。これからも続く超高齢社会にふさわしい社会保障システムのあり方とは？

辻 哲夫氏 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、元厚生労働事務次官

「社会保障・地方の課題とは？」

金子 隆一氏 明治大学政治経済学部特任教授

「人口減少の現実(長期的、短期的)と対応策(方向性)」

大島 一博氏 厚生労働省老健局長

「これからの高齢者福祉」

横幕 章人氏 厚生労働省大臣官房会計課長

「新年度厚生労働省予算の概要」

萩原 竜佑氏 厚生労働省社会・援護局総務課自殺対策推進室室長補佐

「厚生労働省の自殺対策－自殺予備軍を地域で支える」

今回も厚生労働省の政策担当者や、専門家からダイレクトに社会保障政策の方向性を聞くと同時に地方議員の皆様との貴重な意見交換の場となれば幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子

2019年5月8日(水)、9日(木)

5月1日(水)までに27,000円(消費税込み)をお振込みください

(貸会議室) ビジョンセンター 東京有楽町 〒101-8005 東京都中央区新富1-6-2 2階(TEL:03-3253-1028)

定員
100名
定員になり次第
締切

<主催>

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 児谷ビル3F 社保研ティラーレ内
TEL 03-3253-0570 / FAX 03-3527-1028

<協力>

(株)社会保険研究所 / 年友企画(株) / (株)社会保険出版社 / (株)フィスメック

参考様式 4

使途項目	研修費	整理番号	3
------	-----	------	---

活動旅費明細書(令和元年度)

議員名 川瀬孝代

研修事項: アキニティーフォーラム 24

目的地: 大津プリンスホテル

期間: 令和2年2月7日から令和2年2月9日(3日間)

(1) 交通費 980 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交通費
3日間	穴太 ~ 西桑名 往・復	三岐鉄道 北勢線	300 円
"	桑名 ~ 亀山 往・復	JR 関西線	680 円
"	亀山 ~ 大津 プリンスホテル 往・復	自車同乗	0 円
"	亀山 ~ 穴太 往・復	"	0 円
	~ 往・復		円
合 計			980 円

(2) 宿泊費 18,000 円

(宿泊内訳) 実費 9,000 円 × 2 泊

(実費の上限は、14,800円)

合 計 18,980 円

注意

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和元年度)

使 途 項 目	研 修 費
参考様式2の「整理番号」	4 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 平成・令和 2 年 2 月 7 日

領収証番号 34-421

領 収 証

令和2年2月7日

川瀬 孝代 様

下記の通り確かに領収いたしました。

¥38,000-

但し、下記内訳のとおり

アメニティーフォーラム実行委員会
代 表 田 中 正 博 印

〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1
TEL0748-75-8210 FAX0748-75-8270

■内訳

科 目	単 価	数 量	金 額
アメニティーフォーラム24 参加費	¥20,000	1	¥20,000
宿泊費 (4名和洋室利用)	¥9,000	2	¥18,000
合 計			¥38,000

[政務活動費の手引き P10 (2)]

令和 2 年 月 日

東員町議会

議長 水谷 喜和 様

東員町議会 議員 川瀬 孝代 ●

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	<u>令和2年2月7日(金)</u> ~ <u>2月9日(日)</u> [3日間]
研修(視察)先	アキニティーフォーラム24 びわ湖大津プリンスホテル
目的(テーマ等)	障害のある人をはじめとする社会的ハンディを持つ人が 地域で安心して豊かに暮らせる社会の実現をめざして
参加議員名 (複数の場合記入)	鈴鹿市議会 船間涼子・龜山市議会 森美和子 鳥羽市議会 坂倉広子
資料添付の有無	① 有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要・内容・所感

アメニティフォーラム 24

令和2年2月7日から2月9日

受講項目

- 1、命が大切であることを言い切る
- 2、このフォーラムに集う人たちへのメッセージ
- 3、刑務所にしか居場所がない人がいます。
- 4、医療的ケアを必要とする人への支援の最前線
- 5、生きることが光になる～ピアサポート～
- 6、若草プロジェクトのその後
- 7、全世代型の社会保障のあり方
- 8、作る法律、見直す法律
- 9、このくにのみらいがなくなる？子供の支援を本気で考えよう
- 10、居住支援とは何か
- 11、地域共生社会に向け相談支援は包括的に
- 12、高次脳機能障害セッション

所感

アメニティフォーラムは、障害のある人の地域生活を支える。糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」と障害のあるこの子らを「存在」として、倒れても主張し続けた。とされています。2016年7月に起きた津久井やまゆり園事件、生産性のない障害者は社会のお荷物。存在することを否定しました。生産性とは何か。お金や物の価値ではない。人は生きていくことに価値がある。存在しているだけで大きな価値がある。

衝撃を受けた事件でした。どういう生き立ちをし、教育されてきたのか。家庭教育の重要性を思いました。バリアフリーとユニバーサルデザインのまちづくり。「障がい者差別解消法」には、合理的配慮が示されています。私たちの意識改革と共にともに生きることが大事です。野澤和弘氏は、自分で生活できない人をどう助けるのか。重度障害の人にも福祉でしか生きられない。しかし、内面は豊かなものをもっている。とアメニティフォーラムでは、アール・ブリュット展が開かれている。障がい者の方たちの作品には、素晴らしい引き付けるものがあり感動します。

医療的ケアを必要とする人への支援では、自治体で医療的ケア児コーディネーターの配置や協議の場の設置が求められています。受け入れの場が追いついていない現状があります。東松山市の取り組みでは、就学相談への規則を定め、体制では支援シートを活用して就学への相談や引継ぎをしていくなど取り組みを知り、適切な支援と子どもの学びと育ちを支えていく仕組みづくりの必要性を思いました。

明石市市長 泉 房穂氏の基調講演

暴言発言で問題になりましたが、子育て支援への情熱と言葉の強さに感動しました。

1歳児のおむつは無料、財政の中で、格差をなくす取り組み、給食費無料など誰一人として見捨てない、その子に寄り添う、予算の範囲内であれもこれも本気で。中核市であること明石子どもセンターでは、児童相談所など充実させて包括的支援をしています。

母子保健では、「こどもスマイル100%プロジェクト」ですべての子どもの健康状態確認する取り組みはきめ細やかで子育ての安心につながります。子どもにやさしいまちづくり、支援する時に親だけではできない時代である。困ったときに助けてあげられるまちを作っていく。市長の考え方に感銘しました。地域での子ども支援の充実と責任は市町が主体です。親と子の心身の居場所づくりが必要と思いました。

この3日間すべての内容が現場での声でした。障がい、高齢化、貧困、少子化、人口減少など社会での問題や課題は山積みです。また福祉を担う領域はとてな広くなっています。有意義な研修会で、学びの場となり、一つ一つの課題について考えることができました。温かい気持ちや衝撃な事実などがあり、どうしたらみんなが幸せに暮らしていけるのか。を考える場ともなりました。

町において、自治体の大きさもあり、難しい課題もありますが、情報発信と政策提案ができるように努めていきます。

行程表

穴太 8=07 比叡線 西桑名 依勢 桑名 9=00 関西線 龜山 10=00 東名阪自動車道
名神高速道路

大津 IC 大津市由美浜
12=30着

アメニティフォーラム 24
大津プリンスホテル
2/7~2/9

大津市由美浜 12=30発 大津 IC 東名阪自動車道
名神高速道路 龜山 国道 穴太
306号線

2月7日(金)

ごあいさつ 田中正博(アメンティフォーラム実行委員会代表) 大原裕介(全国地域生活支援ネットワーク代表) 北岡賢剛(全国地域生活支援ネットワーク顧問) 尾上浩二(DPI日本会副議長) 玉木幸則(NHK Eテレパリアコメンテーター)

オープニングトーク 映画「閉鎖病棟—それぞれの朝—」の平山秀幸監督をお迎えして 聞き手: 山上徹二郎(パリアフリー映画祭2020プロデューサー)

命が大切であること、を言い切る～生産性よりも必要性!～ 辻哲夫(糸賀一雄記念財団理事長) 笠原吉孝(糸賀一雄記念財団理事長) 潮谷義子(社福) 慈愛園理事長) 進行: 奥田知志(特非) 抱復理事長)

このフォーラムに集う人達へのメッセージ～荒野を目指そう、僕はその先で待つ～ 野澤和弘(毎日新聞客員編集委員)

分身ロボット「OriHime」の衝撃～寝たきりの障害者が、介護や接客をする未来～ 吉藤健太郎(オリ研究所代表取締役CEO) 岡部宏生(日本ALS協会理事) 新: 御代田太一(社福) グロー・ひたに支援員)

服役11回・刑務所に半世紀の男性、生き直しを支えるもの～刑務所にしか居場所がない人がいます～ 福田九右衛門 奥田知志(特非)抱復理事長) 進行: 田島良昭(社福)南高愛護会顧問)

医療的ケアを必要とする人への支援の最前線 前田浩利(医療法人財団はるたか会・理事長) 本後健(厚生労働省障害児・発達障害者支援室長) 田口純子(東京都社会福祉協議会福祉推進課) 山本ひろし(参議院議員) 新: 丹羽羽文(全国地域生活支援ネットワーク理事)

チェックインなど

厚生労働省障害保健福祉部長: 橋本泰宏さんに聞く 私たちが気になっている あのこと、このこと 久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会会長) 片岡保憲(特非)日本高次脳機能障害者友の会理事) 末安民生(特非)東京大学看護学部包括ケア講座) 水流通源(社福)ゆかり理事長) 新: 小田泰久(全国地域生活支援ネットワーク顧問)

障害者虐待をした施設を裁くだけで、解決になるのか? 林見弘(社福)フラット理事長) 片桐公彦(厚生労働省障害福祉課虐待防止専門官) コメンテーター: 中根康浩(元参議院議員) 進行: 曾根直樹(日本社会事業大学専門職大学院准教授)

大交流会 「地域共生社会」の実現に向けて 基調講演①「2040年から「地域共生社会」を考えると 伊原和人(厚生労働省政策統括官(総合政策担当)) 基調講演② 私が考える「共生社会」とは 尾上浩二(DPI日本会副議長) 基調講演③「地域共生社会」の実現例をお伝えします 大原裕介(全国地域生活支援ネットワーク代表) シンポジウム 伊原和人(厚生労働省政策統括官(総合政策担当)) 尾上浩二(DPI日本会副議長) 大原裕介(全国地域生活支援ネットワーク代表) 福岡たかまろ(参議院議員) たきなみ宏文(参議院議員) 進行: 田中正博(全国手をつなぐ育成会連合会会長)

21:00 21:00 21:00 21:00 21:00 21:00

22:10 22:10 22:10 22:10 22:10 22:10

23:25 23:25 23:25 23:25 23:25 23:25

2月8日(土)

国会議員との朝食会(1) (先着50名)～政治に対する希望と反論も言おう!～ 希望でも何でも、遠慮なく喋ってみよう!～ 責任は実行委員会がとります。 参加費:1,500円(要:申し込み、参加費は当日、集めます) モデレーター:野澤和弘(毎日新聞客員編集委員) 山上徹二郎(アメンティフォーラム映画祭プロデューサー) 水流通源(全国地域生活支援ネットワーク)

地域生活支援にまじめに取り組んできたら…経営が苦しくなりました! 報告1:入所施設の小規模化を進めたら… 岡部浩之(社福)ひたに支援員) 報告2:地域生活支援拠点の整備を頑張ったら… 野口直樹(社福)はるたか会) 報告3:強行動向の暮らしを支えたら… 松上利男(社福)はるたか会)

「老い」をズラしてヒラく場づくり～演劇、映画、メディアづくりを事例に～ 菅原直樹(俳優、介護福祉士、「老いと演劇」OIBokkeShi主宰) 孫大輔(作家、「おぼろげなまはりの健康プロジェクト」主宰) 猪狩優(いわき市役所保健福祉部地域ケア推進課、「figok」編集長) 特別:伊原和人(厚生労働省政策統括官(総合政策担当)) 新:アサダワタル(文化活動家)

生きることが光になる～ピアサポートの世界～ 内布留之(日本シニアヘルスケアピアサポート専門員) 狭谷哲志(特非)あすなろ福祉支援センター) 岩崎香(早稲田大学人間科学部教授) 吉野智(厚生労働省福祉専門官) 井上誠一(内閣府まち・ひと・しごと創生本部地域地方創生推進官) 進行: 廣江仁(社福)代表理事)

若草プロジェクトのその後～SOSを心に抱えた少女や若い女性たちに寄り添う～ 村木太郎(一社)若草プロジェクト理事)

全世代型の社会保障のあり方～その財源はどこから調達するのか～ 鈴木俊彦(厚生労働省次官) 横倉義武(日本医師会会長) 進行: 野澤和弘(毎日新聞客員編集委員)

人生のしまい方、日々のえらび方～人生会議と障害のある人の意思決定支援～ 矢部美代子(特別養護老人ホームふくらみ副所長(生活相談員)) 金森桐子(特別養護老人ホームふくらみ看護主任) 清水明彦(西宮市社会福祉協議会常務理事) 助言者: 清原基道(厚生労働省次官) 進行: 曾根直樹(日本社会事業大学専門職大学院准教授)

屋敷・休憩

人の暮らしは住まいから 村木厚子(津田塾大学客員教授)

アール・ブリュット、クリエイション、日本～障害者の芸術文化振興議員連盟と知事連盟の皆さんにもご参加を頂いて～ 第1部 青柳正規(前文化庁長官) ジャン＝マルク・エロー(元フランス首相) 進行: 野澤和弘(毎日新聞客員編集委員) *知事連盟の出発者は現在調整中です。 第2部 衛藤晟一(一億総活躍担当大臣) 高木美智代(参議院議員) 古川康(参議院議員) 三日月大造(滋賀県知事) 平井伸治(鳥取県知事) 進行: 大原裕介(全国地域生活支援ネットワーク代表)

加藤厚生労働大臣に聞く 聞き手: 野澤和弘(毎日新聞客員編集委員)

張り切って参りましょう! 作る法律、見直す法律 衛藤晟一(一億総活躍担当大臣、参議院議員) 高木美智代(参議院議員) 進行: 渡邊芳樹(元スウェーデン全権大使) 加藤厚子(毎日新聞客員編集委員) 鈴木智教(名古屋総合福祉センター所長) 久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会会長)

この国の未来がなくなる? 子どもの支援を本気で考えよう 基調講演 泉房穂(明石市長) 問題提起 潮谷義子(社福)慈愛園理事長) パネルディスカッション 泉房穂(明石市長) 橋本達也(全国児童家庭支援センター協議会会長) 北川聡子(社福)度の子会総合施設) 藤井康弘(元厚生労働省障害保健福祉部長) 助言者: 潮谷義子(社福)慈愛園理事長) コーディネーター: 野澤和弘(毎日新聞客員編集委員)

これからの障害当事者スタイル～運動だけではなく、発信の可能性～ 玉木幸則(NHK Eテレパリアコメンテーター) 広瀬浩二(国立民族学博物館グローバル現像研究部准教授) 熊谷晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター准教授) 進行: 田端一恵(社福)グローバル企画事業部長)

私たちは「C型就労」を進めます!! 講演 C型就労の意義についてお話しします 岩上洋一(全国地域で暮らすネットワーク代表) 書籍1 C型就労の具体的な取り組み 竹嶋信洋(株)ベストサポート社長) 書籍2 山梨県下のスターバックスで「アール・ブリュット」の展示展開! 瀧澤聡(山梨アール・ブリュットネットワークセンター代表)

精神科医療の使い方: お互いがWin-Winになるために～家族・支援員・PSW・医師の立場から～ 小島幸子(栃木県手をつなぐ育成会会長) 伊藤未知代(横浜市総合保健医療センター室長) 名雪和美(厚生労働省福祉専門官) 7/14/19- 清原基道(厚生労働省次官) 新: 田島光浩(南光愛護会理事長: 精神科医)

よくぞ立ち上げてくれました! 「全国居住支援法人協議会」 シンポジウム① 解決を求めない伴走型支援の充実を 奥田知志(特非)抱復理事長) 野崎伸一(厚生労働省大臣官房総務課広報室長) 藤森克彦(日本福祉大学福祉学部長) 教授)

シンポジウム② 居住支援とは何か～「人が家に住む」をもう一度考える～ 大月敏雄(東京大学大学院工学系研究科建築学教授) 奥田知志(特非)抱復理事長) 村木厚子(津田塾大学客員教授) 進行: 高原伸幸(厚生労働省中国四国厚生局)

夕食・休憩

自立生活援助の魅力を語る～病院、施設やGHを出る事がゴールではなく、どう生きるかが重要～ 松村真美(社福)南高愛護会理事) 有野哲章(社福)富浜会理事長) 田村綾子(聖学院大学心理福祉学部教授) 吉野智(厚生労働省福祉専門官) 進行: 岡部正文(一社)ソラティオ代表理事)

2月9日(日)

国会議員との朝食会(2) (先着50名)～政治に対する希望と意見を言おう!～ 希望でも何でも、遠慮なく喋ってみよう!～ 責任は実行委員会がとります。 参加費:1,500円(要:申し込み、参加費は当日、集めます) モデレーター: 又村あおい(全国地域生活支援ネットワーク) 大原裕介(全国地域生活支援ネットワーク代表) 福島龍三郎(全国地域生活支援ネットワーク)

世界の栄養課題の変わり目を日本がリード～「障害と食」の研究がそれを実現する～ 中村丁次(日本栄養士会会長・神奈川県立保健福祉大学学長) 講師: 米澤文雄(レストランTHE BURN理事長) 井上瑞菜(障害者の食と文化活動推進研究会理事) 聞き手: 岡山慶子(障害者の食と文化活動推進研究会理事)

高次脳機能障害セッション 障害があるから許されるのかという問いに～脳とゲームと生活と～ 講演 脳にダメージのある当事者の困りごと 片岡保憲(特非)日本高次脳機能障害者友の会理事) 特別: 高次脳機能障害支援法の早期成立を! 小西川梨紗(滋賀県高次脳機能障害支援センター相談支援員) 大隈和英(参議院議員) 熊野せいし(参議院議員) 進行: 片岡保憲(特非)日本高次脳機能障害者友の会理事)

地域共生社会に向け相談支援は包括的に～丸ごと相談は障害者支援の質を高めるか～ 講演 地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加、協働に関して 朝川知昭(厚生労働省 参事官(総合政策統括担当)) 特別: 縦割りを超えてニーズを受け止める「断らない」相談 藤川雄一(厚生労働省障害福祉課 相談支援専門官) 助川木枝保(船橋市三山・田草野井地域包括支援センター) 大戸優子(いちばら生活相談サポートセンター) 朝川知昭(厚生労働省 参事官(総合政策統括担当)) コメンテーター: 北野誠一(おおさか地域生活支援ネットワーク理事長) 進行: 大平真太郎(滋賀県健康医療福祉部障害福祉課副参事)

「健康寿命!健康寿命!」と言わないで～生きる力を重ねて生きよう～ 清水明彦(第1回糸賀一雄記念賞受賞者) 名里晴美(社福)訪問の家庭理事) 進行: 丹羽羽文(社福) 参事官執行理事)

変わる精神科医療! 若き院長の挑戦。 親子2代で挑む地域に開かれた精神科病院～フットサルのことも～ 児玉圭(こだま病院院長) 立ち止まって考えよう認知症治療～ 認知症の方の急激退行のことも～ 大石智(北里大学医学部精神科学講師)

若き院長の認知症治療改革。 医者の大仕事は? 坂井善郎(豊厚生病院院長) 進行: 田島光浩(社福)南光愛護会理事長・精神科医) アドバイザー: 土生栄二(厚生労働省大臣官房長)

第24回アメンティフォーラム最終講義 良い加減に生きられないあなたへ 北山修(精神科医・作詞家)

*プログラムの変更や講師の入替えなどもあります。その際はどうぞご了承ください。